

銀行名	滋賀銀行
-----	------

タイトル	創業・新規事業開拓の支援
------	--------------

<p>取組み内容</p>	<p>「ニュービジネス」を育成</p> <p>お取引先の「新たな成長を実現するニュービジネス（新規事業）」の育成のため、「サタデー起業塾」の開講によるニュービジネスのヒントを提供、ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携、多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金」や「しがぎん成長戦略ファンド」による投資など幅広く活動。</p> <p>ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」</p> <p>医療関連産業、地域資源、次世代インフラ等のテーマに沿って、各分野で活躍されている経営者の講演、専門家による各分野の最新動向の紹介などを行い、旺盛な起業家精神をサポート。</p> <p>今年で15年目となる平成26年度「ビジネスフォーラムサタデー起業塾」を5月にスタート。今年度も、昨年に引き続き分科会を加え、より実践的なビジネスアイデアを生み出す内容とし、平成27年2月までに計5回、毎回土曜日に開催。</p> <div style="text-align: center;"> <p>しがぎん ニュービジネス支援ネットワーク 野の花応援団</p> <p>有望ニュービジネス</p> <p>有償責任監査法人トーマツ 京都監査法人 SMBC日興証券 野村證券 みずほ証券 アトキベタリパートナーズ フューチャーVC 日本VC 日本政策投資銀行 エー・ジー・ピー 大阪中小企業投資育成 滋賀経済産業協会 東京証券取引所 中小機構 近畿本部 しがぎんリース キャピタル しがぎん銀行 しがぎん 経済文化センター しがぎん成長戦略ファンド 投資事業有限責任組合 事務局 営業統括部 産学官金アニュアルアドバイザーボード</p> <p>滋賀県 滋賀県 工業技術総合センター 滋賀県東北部 工業技術センター 滋賀県産業支援プラザ 京都高度技術研究所 (ASTEM)</p> <p>産学官金テクニカルアドバイザーボード 安田昌司(滋賀県立大学 産学連携センター 教授) 森脇一郎(京都工芸繊維大学 創造連携センター センター長) 牧野圭祐(京都大学 名誉教授) 和田隆博(龍谷大学 龍谷エクステンションセンター センター長) 中谷吉彦(立命館大学 産学官連携戦略本部 副本部長)</p> <p>(略称) (平成26年4月現在)</p> </div> <p>しがぎんニュービジネスサポート資金</p> <p>起業家の皆さんの多様な資金ニーズに迅速にお応えするため、3,000万円を上限として原則無担保でご融資する「しがぎんニュービジネスサポート資金」を取り扱っている。</p>
--------------	--

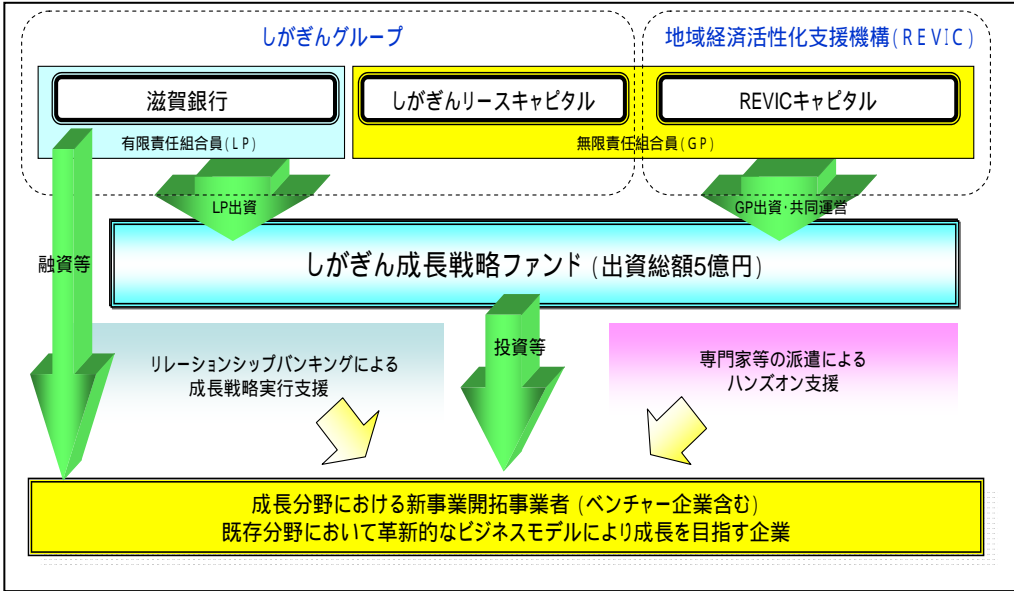
投資事業有限責任組合からの投資

しがぎんグループの投資ファンド「滋賀ベンチャー1号～4号ファンド」は、株式公開を目指される地元ベンチャー企業などに対して、金融支援や資本政策など公開準備のためのサポートを行っている。

項目	実績
ニュービジネスサポート コーディネート活動件数(平成25年度)	106件
ニュービジネスサポート資金 実行(平成9年11月以降累計)	118件 24億7,600万円
滋賀ベンチャーファンド1～4号 投資(平成10年8月以降累計)	52社 11億8,400万円

しがぎん野の花賞

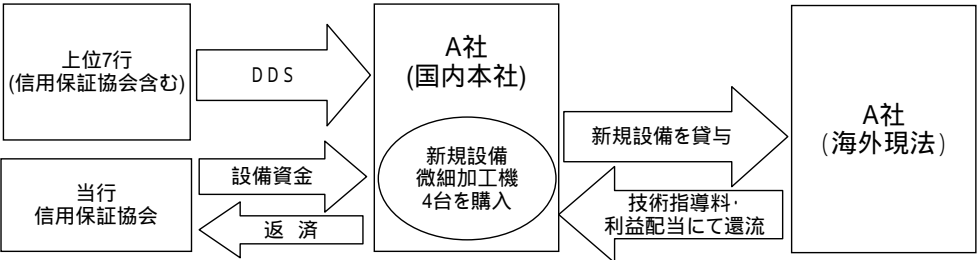
平成25年度「しがぎん野の花賞」として5企業に総額50万円を贈呈。同賞は、産学官(産産含む)連携で、ニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰するもので、創設(平成15年)以来の累計は78先、総額780万円となった。

銀行名	滋賀銀行												
タイトル	しがぎん成長戦略ファンド												
取組み内容	<p>株式会社 地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル 株式会社と事業成長ファンド『しがぎん成長戦略ファンド投資事業有限責任組合』（以下、「本組合」）を平成26年4月30日、設立。</p> <p>本組合の設立目的は、「出資」を行うことで、成長を目指すお取引先へのサポートを一層強化することです。地域経済活性化支援機構と地域金融機関が連携した事業成長ファンドの設立は、全国で2例目。投資対象は成長分野における新事業開拓事業者（ベンチャー企業含む）、既存分野において革新的なビジネスモデルにより成長を目指す企業。ベンチャー企業のほか、中小・中堅企業に投資を行い、成長のためのハンズオン支援によって投資先企業の企業価値向上を目指している。</p> <p>しがぎん成長戦略ファンド投資事業有限責任組合の概要</p> <table border="1" data-bbox="432 853 1441 1346"> <tr> <td>名称</td> <td>しがぎん成長戦略ファンド投資事業有限責任組合</td> </tr> <tr> <td>ファンド総額</td> <td>5億円</td> </tr> <tr> <td>組員構成</td> <td>滋賀銀行 しがぎんリース・キャピタル 株式会社 REVICキャピタル 株式会社</td> </tr> <tr> <td>設立日</td> <td>平成26年4月30日</td> </tr> <tr> <td>存続期間</td> <td>設立日より8年間</td> </tr> <tr> <td>無限責任組員</td> <td>しがぎんリース・キャピタル(株)、REVICキャピタル(株)</td> </tr> </table> 	名称	しがぎん成長戦略ファンド投資事業有限責任組合	ファンド総額	5億円	組員構成	滋賀銀行 しがぎんリース・キャピタル 株式会社 REVICキャピタル 株式会社	設立日	平成26年4月30日	存続期間	設立日より8年間	無限責任組員	しがぎんリース・キャピタル(株)、REVICキャピタル(株)
名称	しがぎん成長戦略ファンド投資事業有限責任組合												
ファンド総額	5億円												
組員構成	滋賀銀行 しがぎんリース・キャピタル 株式会社 REVICキャピタル 株式会社												
設立日	平成26年4月30日												
存続期間	設立日より8年間												
無限責任組員	しがぎんリース・キャピタル(株)、REVICキャピタル(株)												

銀行名	滋賀銀行					
タイトル	GREEN POWERプロジェクト()「まちエネ大学 滋賀スクール」へ協賛					
取組み内容	<p>経済産業省資源エネルギー庁等が実施する地域貢献型の再生可能エネルギー事業者育成講座「まちエネ大学 滋賀スクール」に協賛。</p> <p>「まちエネ大学」は、11月から東京、札幌、大津、和歌山、松江の全国5カ所で開講。このうち「まちエネ大学 滋賀スクール」は、戸建住宅や工場、各種施設における中小規模の太陽光発電の導入可能性が大きい滋賀県において、滋賀県および県内の環境NPO等と連携しながら、地域貢献志向を持った再生可能エネルギー関連事業者の育成を目指すもの。</p> <p>本講座では、事業構築の考え方、まちづくりや法的リスクに詳しい専門家に講演いただき、全4講座の最終回には、これまでの講座の成果を披露する事業計画発表会を行った。なお、第1回講座開講に先立ち、受講説明会を兼ねたイベントを11月に開催。</p> <p>() GREEN POWERプロジェクト 資源エネルギー庁が官民連携で進める再エネ普及啓発事業。</p> <table border="1" data-bbox="443 1160 1469 2123"> <tr> <td data-bbox="443 1160 630 1227">1. 名称</td> <td data-bbox="630 1160 1469 1227">「まちエネ大学 滋賀スクール」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1227 630 2123">2. 日時・会場 プログラム</td> <td data-bbox="630 1227 1469 2123"> <p>イベント</p> <p>平成25年11月6日(水)13:30~16:30 ピアザ淡海 大会議室</p> <p>再生可能エネルギーに関する映画上映会・ワークショップ</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>勝屋 久 氏(プロフェッショナル・コネクター)</p> <p>ファシリテーター:吉田 典正 氏(ドリームコーチ・ドットコム社長)</p> <p>第1回講座</p> <p>平成25年11月18日(月)14:00~16:30 ピアザ淡海</p> <p>「再エネビジネスを通じて持続可能な地域をつくる、再エネビジネスのパイオニアに会う！」</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>原 亮弘 氏(おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役)</p> <p>第2回講座</p> <p>平成25年12月16日(月)14:00~16:30 滋賀銀行 本店</p> <p>「各地の再エネビジネス成功事例から学ぶ」</p> </td> </tr> </table>		1. 名称	「まちエネ大学 滋賀スクール」	2. 日時・会場 プログラム	<p>イベント</p> <p>平成25年11月6日(水)13:30~16:30 ピアザ淡海 大会議室</p> <p>再生可能エネルギーに関する映画上映会・ワークショップ</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>勝屋 久 氏(プロフェッショナル・コネクター)</p> <p>ファシリテーター:吉田 典正 氏(ドリームコーチ・ドットコム社長)</p> <p>第1回講座</p> <p>平成25年11月18日(月)14:00~16:30 ピアザ淡海</p> <p>「再エネビジネスを通じて持続可能な地域をつくる、再エネビジネスのパイオニアに会う！」</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>原 亮弘 氏(おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役)</p> <p>第2回講座</p> <p>平成25年12月16日(月)14:00~16:30 滋賀銀行 本店</p> <p>「各地の再エネビジネス成功事例から学ぶ」</p>
1. 名称	「まちエネ大学 滋賀スクール」					
2. 日時・会場 プログラム	<p>イベント</p> <p>平成25年11月6日(水)13:30~16:30 ピアザ淡海 大会議室</p> <p>再生可能エネルギーに関する映画上映会・ワークショップ</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>勝屋 久 氏(プロフェッショナル・コネクター)</p> <p>ファシリテーター:吉田 典正 氏(ドリームコーチ・ドットコム社長)</p> <p>第1回講座</p> <p>平成25年11月18日(月)14:00~16:30 ピアザ淡海</p> <p>「再エネビジネスを通じて持続可能な地域をつくる、再エネビジネスのパイオニアに会う！」</p> <p>ゲスト講師:村上 敬亮 氏(資源エネルギー庁新エネルギー対策課長)</p> <p>原 亮弘 氏(おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役)</p> <p>第2回講座</p> <p>平成25年12月16日(月)14:00~16:30 滋賀銀行 本店</p> <p>「各地の再エネビジネス成功事例から学ぶ」</p>					

		<p>ゲスト講師:大和田 順子 氏 (一般社団法人 ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表)</p> <p>第 3 回講座 平成 26 年 1 月 24 日(金)14:00 ~ 16:30 滋賀銀行 本店 「リスクを踏まえて、始めよう！」</p> <p>ゲスト講師:水上 貴夫 氏(弁護士) (NPO 再エネ事業を支援する法律実務の会 代表)</p> <p>第 4 回講座 平成 26 年 2 月 27 日(木)13:30 ~ 16:30 ピアザ淡海 「卒業」事業計画 / 再エネビジネスプラン発表会</p> <p>ゲストファシリテーター:小泉 博之 氏(公認会計士)</p>
	<p>3. 主 催</p>	<p>まちエネ大学実行委員会 (共催)経済産業省 資源エネルギー庁 (後援)滋賀県 (協賛)株式会社滋賀銀行 (企画)Green TV Japan</p>

銀行名	滋賀銀行
タイトル	科学技術振興機構（JST）と連携協定を締結
取組み内容	<p>地域における中小企業等の産学連携活動を推進し、地域産業の発展に貢献するために、平成 26 年 4 月 11 日、独立行政法人科学技術振興機構（以下、JST）と「産学連携に関する業務連携・協力に関する協定書」を締結（JSTとの連携協定は全国の地銀で初）。JSTは、大学・公的研究機関などと広範なネットワークを持ち、その特許情報などの技術シーズについても膨大なデータベースを構築し、課題解決型の基礎研究から、実用化を見据えた本格的な研究開発までを支援している。</p> <p>当行は、平成 12 年から「サタデー起業塾」を開講。また、平成 14 年には産官学金の連携を強化する「野の花応援団」を設立、ベンチャー企業経営者ならびに取引先後継者の育成および事業支援に取り組み、今年度は 15 年目を迎える。JSTとの連携を通じ、お取引先の産学連携活動を推進するとともに、地域の産業振興および国際競争力強化に繋げていく考え。</p> <p>[連携協定の概要]</p> <p>(1) 産学連携の支援 大学や公的研究機関などの研究成果の目利きをして中小企業等の産学連携活動を支援する。</p> <p>(2) 技術移転の支援 JSTの「産学共同実用化開発事業」をはじめとする各種プログラムの利用を通じて、中小企業等の研究開発を支援する。</p> <p>(3) 企業の育成 JSTが主催する「目利き人材育成研修」への参加を通じて、中小企業等が自ら連携相手を探すための人材育成を支援する。</p>

銀行名	滋賀銀行
タイトル	取引先の経営改善・事業再生サポート
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取引先 A 社は、半導体検査装置製造業で、中小企業再生支援協議会を通じて事業再生計画を策定し、経営改善に取り組んできた取引先。 当初計画では、デジタル家電を主なターゲットとして、日系メーカーとの取引を通じ、その需要を取り込む方針であった。 しかし、日系企業のモノづくりがアジア等への海外シフトが進行する中、収益計画に乖離が生じ、再度、中小企業再生支援協議会の関与の下で修正計画策定に着手した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画骨子策定に際して、国内生産はダウンサイジングによる黒字化、今後成長の見込める海外での受注、生産強化を図る方向性に対する助言を行った。 また、国内の人員削減等できる限りの経営努力を求める一方、取引金融機関上位7行（信用保証協会含む）にて、DDS の導入による金融支援を導入した。 さらに、成長支援の観点から海外現法において生産能力、技術力アップを図るため、微細加工機 4 台を導入予定であり、設備資金は当行と信用保証協会協調にて対応予定。 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産の海外シフトを主とする激しい事業環境の変化に対応するため、ビジネスモデルの転換が可能となる。 財務・収益性の改善を図り、事業維持成長・雇用維持が可能となる。 

銀行名	滋賀銀行
タイトル	取引先の海外進出支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社（時計・眼鏡小売業）は日本国内の大手ショッピングモールに主力テナントとして多数出店。 ・ 同大手ショッピングモールのアジア積極展開に伴い、A社にも出店要請があり、海外進出（中国・ベトナム・カンボジア）を検討。 ・ 初めての海外進出となるA社に対し、「進出可否決定と計画立案」段階から積極的に関与し、A社の問題解決を図った。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店、本部（国際部）、海外拠点（上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所）一体となったサポート体制によるタイムリーな情報提供を実施。 ・ 業務提携先を活用した海外進出におけるリスクヘッジの提案。 ・ 進出形態、地域別注意事項、出資規制等の具体的調査。 <p>以上により、以下の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有償アドバイザリー契約締結：6件 （進出可否決定、中国現地法人設立、ベトナム現地法人設立、カンボジア現地法人設立、中国分公司設立、中国現地法人定款作成） 日本貿易保険の「海外投資保険」成約 海外進出にかかる国内新規融資実行 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノウハウも人材もないA社の海外進出に際し、進出可否検討段階からサポートを行い、3ヶ国での海外現地法人設立に至る。 ・ 開店後、業況順調に推移しており、更なるアジア展開を目指す。

銀行名	滋賀銀行
タイトル	CSRの取り組み
取り組み内容	<p>・当行の行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」の精神を原点としたCSR 憲章（経営理念）に「地域社会」「役職員」「地球環境」との「共存共栄」を掲げ、「環境」「福祉」「文化」を3本柱としたCSR活動に取り組んでいます。</p> <p>「エコ・ファースト企業」</p> <p>経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと、金融商品・サービスの提供など環境保全を金融面から促進する「環境金融」に取り組んでいます。これまでの環境保全活動が広く認められ、平成20年に金融業界初の「エコ・ファースト企業」として、環境省より認定を受けました。</p>  <p>環境配慮型店舗「唐崎支店」新築オープン（平成26年3月10日）</p> <p>町並みに配慮したデザインとし、営業スペースを最大限に確保するなど店舗機能の充実を図りました。太陽光発電やソーラー街路灯等を採用し、「クリーンバンクしがざん」として環境に配慮しています。当行は5次長計に「お客さまの利便性が向上するチャネル機能の見直し」を掲げ、店舗機能の充実に取り組んでいます。</p>  <p>高等学校「現代倫理」の教科書にCSR活動事例として掲載</p> <p>株式会社清水書院が平成26年2月に発行した高等学校「現代倫理」の教科書に「企業による社会貢献活動」の事例として、当行の環境保全活動や「環境金融」への取り組みが掲載されました。</p>  <p>【企業による社会貢献活動（息巻流の沿岸で環境保全活動を行う銀行員）】 この取組では、役職員が地域の環境保全活動に取り組んでいる。 また、銀行の本業である営業を通じて、環境保全専門家への職員や、定期預金に学校の環境学習への支援を絡め込んだ商品の開発などを行っている。これらの社会貢献活動は、近江商人の精神を受け継ぐとするものであるという。 近江商人の精神とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」といわれるもので、販売とは売り手の利益だけではなく買い手の利益にもなるべきであるという理念である。（日本の商業道徳について→p.97石田地岩の項参照）</p> <p>第15回グリーン購入大賞で「大賞」受賞</p> <p>各平成25年12月、当行の「幅広い継続的な環境負荷低減の取り組み」が評価され、「大賞」を受賞しました。（主催：グリーン購入ネットワーク）</p>  <p>「第17回環境コミュニケーション大賞」でダブル受賞</p> <p>環境報告書部門 環境報告大賞（環境大臣賞） テレビ環境CM部門 優秀賞</p> <p>平成26年3月、当行発刊の「CSRレポート2013歩みを、共に。」とテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇が優れた環境コミュニケーションツールとして高い評価を受け、栄えあるダブル受賞となりました。（主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム）</p> 

銀行名	滋賀銀行
-----	------

タイトル	いきものがたりプロジェクト
------	---------------

「CSR のしがぎん」というブランド戦略のもと、多岐にわたるCSR 活動をこれまで展開してきました。その活動を創立80周年記念事業「いきものがたりプロジェクト」として一体化し、持続性、発展性、ストーリー性のある活動を3月末まで行いました。

取組み内容

地域社会との共存共栄
創立80周年記念事業
いきものがたりプロジェクト

「CSR のしがぎん」というブランド戦略のもと、多岐にわたるCSR 活動をこれまで展開してきました。その活動を創立80周年記念事業「いきものがたりプロジェクト」として一体化し、持続性、発展性、ストーリー性のある活動を3月末まで行いました。

 <p>しがぎん福祉基金贈呈式 開催日：平成25年4月24日(水) 創立50周年に設立した社会福祉法人しがぎん福祉基金は幅広く福祉活動に助成しています。</p>	 <p>外来魚駆除・釣りボランティア 開催日：平成25年5月18日(土) 琵琶湖の生態系を取り戻すために実施。520名が参加し、1日で2,507匹、60.9kg分ものブルーギルを釣り上げました。</p>
 <p>学校バイオトップ贈呈式 開催日：平成25年6月3日(月) 子供たちが自然や生き物とふれあい、環境を学習する場を提供しています。</p>	 <p>「ペットボトルキャップ」リサイクル活動 実施期間：平成25年7月1日～10月18日 回収したキャップ113,197個をNPO法人エコキャップ推進協会等へ寄贈。世界の子供たちへのワクチンや「再生プランター」等に生まれ変わりました。</p>
 <p>「使用済み切手」回収活動 実施期間：平成25年7月1日～平成26年2月28日 回収した53.65kgの使用済み切手は福祉団体に寄贈し、社会福祉に役立てられます。</p>	 <p>ニゴロブナ・ワタカ放流事業へ170万円を寄贈 開催日：平成25年7月10日(水) 琵琶湖の固有種を絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを保護・育成・放流しています。</p>
 <p>森づくりサポート活動 開催日：平成25年8月24日(土) 植樹をしたびわこ地球市民の森で除草や枝打ちに680名が参加しました。創立70周年より続けている植樹合計は21,480本になりました。</p>	 <p>ユニセフ外国コイン贈呈式 開催日：平成25年10月17日(木) 世界の子供たちのために役立ててもらったため、全支店に募金箱を設置。収集された外国コインや紙幣は36.8kgにのびりました。</p>
 <p>びわ湖環境ビジネスメッセ2013 出展 開催日：平成25年10月24日～26日(木～土) 「環境ビジネス支援」をテーマに環境経営や環境金融の取り組みを紹介しました。</p>	 <p>伊吹のスキスキー 開催日：平成25年11月3日(日) 奥伊吹スキー場のスキスキーの維持環境のために、スキスキーを実施。湖北エリア80名が参加しました。</p>
 <p>ヨシ苗植え 開催日：平成25年11月16日(土) あやめ浜水泳場・農協周辺のゴミ拾いの後、360本のヨシ苗を植栽しました。ヨシ群落を「守り、育てる」活動の1つです。130名が参加。</p>	 <p>ヨシ刈り 開催日：平成25年12月7日(土) 安土・西の湖で実施されたヨシ刈りには625名が参加。刈り取ったヨシは収穫員の名刺に生まれ変わります。</p>
 <p>ニゴロブナ・ワタカ放流式 開催日：平成26年1月25日(土) 今年度は環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金によるニゴロブナ30,000匹、ワタカ40,000匹を放流しました。</p>	 <p>ピワマス護上プロジェクト 開催日：平成26年3月16日(日) 琵琶湖の固有種で準絶滅危惧種のピワマスを、役員が卵から育て、米原市天野川支流に放流するプロジェクトを実施しました。</p>